



ガイド名	紹介文
	<p>おじが長年、国立公園局のチーフレンジャーだったので、私は国立公園について様々なこととおじから聞きながら育ちました。そして、ジョージアとカリフォルニアの間を結ぶルートで、公園を旅したり、美しい場所や感銘を受ける場所を訪れながら3度の夏を過ごしました。4年間で46州を訪れ、夜を過ごしました。私はまだ若いですが、私たちのこの大きな国について学ぶ努力をしてみましたので、多くの人にこれまでの経験を踏まえてお話ができると思います。新しい地へ行けば行くほど、私は西海岸へ戻ってくるよう呼ばれているような感じがします。</p> <p>私は、ジョージア大学を卒業後、ニューヨークに移り、マンハッタンで非営利団体で1年半働いていましたが、自身のカリフォルニアに対する愛によりここへ導かれたように思います。大学での国際関係の学位が、ツアーガイドとして働くことに役に立つとは予想していませんでしたが、オーストラリア、ニュージーランド、中国、日本、ドイツ、コロンビアなど世界中の人々とお会いする中で、これまで学校で勉強してきた問題や関心事を話すようになりました。たくさんの多様で興味深い人々に会うようになったことに加えて、ヨセミテの壮大な断崖や千フィートの滝を見たり、驚くほど美しいカリフォルニア・ハイウェイをドライブしたり、世界で最も素敵なワインがどこで作られているのかを見たりして日々を過ごすようになりました。</p> <p>どこへ行こうとも、カリフォルニアが私の故郷となるでしょう。</p>
	<p>こんにちは！私はディブです。私はツアーガイドとして約10年間働いており、この仕事が大好きです。これまでたくさんのツアーを案内してきました。例えば、マヤ遺跡、アラスカ、グランドキャニオン、グアテマラのジャングルの上空を飛ぶキャンピー、オーロラの下でのキャンプなどです。</p> <p>この仕事は、現実世界の平凡なオフィスワークではなく、世界中を旅し、信じられない多くの人々と会わせてくれました。そして、6年間の路上での放浪生活の末、私はそろそろ変わるときだと感じました。それは・・・定住です！！どこへ行こう？何をしよう？答えは明確でした。「サンフランシスコ」ほとんど全ての州(50州中49州)を旅して、ほぼ全ての主要な都市で時を過ごし、私は、サンフランシスコこそが私の場所だと知っていました。サンフランシスコは素晴らしい街です！偉大なミュージックシーンやおいしい食事、便利な交通機関、それにちょっと郊外に足を伸ばせば気軽にアウトドアも楽しめるんですから。</p> <p>どのツアーが一番素晴らしいかなんて決められないけれど、ヨセミテ公園は私がこの仕事に就いた理由のひとつです。訪れる人はその景色に必ず驚嘆するんです。偉大な自然に加えて希少な野生動物たち。それに世界最大級の岩肌。本当に素晴らしいです。</p> <p>ワインツアーもとても楽しいです。私はワインツアーはあまり担当しませんが、とても魅力的なツアーです。美しいカリフォルニアの田舎、そして何千もの家族経営のワイナリーなど、見所がたくさんあります。</p> <p>私は自分の仕事が大好きです。人々に素晴らしい思い出を提供できるお手伝いできることがとても嬉しいのです。是非ツアーにお越しください！一生忘れられない思い出を作れることをお約束します！</p>
	<p>僕はゲイヴィン、モンタナ州のヘレナで生まれ育って大学はシアトルで学びました。シアトルは素晴らしい場所だけど、僕はモンタナ州が大好きで、いつもその土地の人々やモンタナで楽しめる素晴らしいアウトドアを恋しく思っていました。大学を卒業してからは働いたり旅をして過ごしていました。</p> <p>それから2年半前にサンフランシスコに引っ越しただけど、気候は穏やかで、みんなフレンドリー、食べ物も美味しい行政もしっかりしててすごく気に入りました。僕は友達とのみに行ったり、音楽を聴いたりするのが好きです。メキシコ料理もすごく好き。仕事以外でもハイキングやキャンプのようなアウトドアが大好きです。オーストラリアや南米、中央アメリカに旅することも好きです。要するに新しい場所へ行くことが大好きです！</p> <p>僕は1年半ツアーガイドとして働いていますが、この仕事で一番気に入っているのは、カリフォルニアの素晴らしい観光地を世界中の人々と回れることです。ヨセミテとジャイアント・セコイアのツアーは特にお勧めです。特に春と初秋は素晴らしくて、時間がなくても是非見てほしい観光地です！自然と過ごす癒されるし、人生を豊かに出来ます。その他にもたくさんのツアーをご紹介しますお待ちしています。シティ・ツアーやおいしいワインを試飲できるツアーなどもたくさんあります。</p> <p>僕の将来の環境学でプランは博士号をとる予定です。ありのままの美しい自然を構成に残していきたいと思っています。</p>
	<p>やあ、僕はサンフランシスコ出身のマークだよ！ホテルでベルマンから総合マネージャーを経験して、それからツアーガイド兼ドライバーに転職したんだ。何故かって？僕は旅が好きで、ガイドをするほうが性にあってるんじゃないかって気づいたからさ。そして数年前にヴァンを買って旅行者をガイドしてる若者と知り合って、そこで雇ってもらったのさ。</p> <p>初めての仕事は今でも覚えている。ヴァンに13人の旅行者を乗せてヨセミテへ向かったんだ。みんな楽しそうで、僕は必死でみんなをガイドしたんだ。こんなに楽しい仕事でお金がもらえるなんて信じられないって思ったさ！</p> <p>その後一度はホテル業界に戻ったんだけど、すぐに旅行業界に転職しなおしたね。</p> <p>ガイドをして一番嬉しかった思い出は、9歳の男の子が僕のガイドを聞いて、こう言ったこと。「パパ、僕はこの2時間で歴史の授業丸一年よりもいっぱい学んだ気分さ！」ってね。</p> <p>新しい出会いがあって、自分の町を紹介して、また彼らから多くを学んで、カリフォルニアで最も美しいスポットを訪れて・・・まったく素晴らしい仕事さ。あなたにも是非僕の車でツアーを楽しんでもらいたいよ！</p>
	<p>僕はスウェーデン系でアイオワ出身のラルフです。</p> <p>どんなに立派に成長して素晴らしい職についた大人になっても、子供の冒険心は忘れずにいたいって思ってる。ヨセミテの素晴らしい美しさを始めて目の当たりにしたお客さんたちの顔が大好きで、それが僕の心の充電になってます。そして、ガイドとして伝えられるこの地の文化や歴史を、出来る限り伝えようと日々努力しています。</p> <p>僕はサイクリングやランニング、アイオワの河合沿いの町を散策することも好きだけど、読書も大好きです。特に図書館の恐竜の図鑑や科学読み物は制覇したかな。僕の親族はほぼミネソタとミズーリの間にあるミシシッピ川の付近に住んでいます。</p> <p>そんな僕をカリフォルニアへ導いてくれたのは僕の兄弟。彼はカリフォルニアの大学に住んでいて、僕は高校のときに彼を訪ねたんだ。そこで生物学の専攻だった僕は、カリフォルニアの巨木に興味をひかれた。その後就職してもヨセミテが忘れられなくて、結局フルタイムで働く代わりにカリフォルニアの素敵な観光地について勉強を始めたんだ。その後サンフランシスコに引っ越して、ふと30年近く触ってなかった本を開いた・・・「大きな木」って本を。その本で木に対する昔の情熱を思い出したんです。運命ってやつだね。</p> <p>現在は主にツアードライバーのためにオフィスで働いている僕ですが、心はいつも木々と一緒にだから、たまに彼らのもとへ出掛けずにはいられなくなります。もしある朝、ヨセミテツアーで僕に出会ったら、僕もあなたも、きっと素晴らしい心の充電ができると思いますよ！</p>

 <p>Rodrigo</p>	<p>僕の名前はロドリゴ。 最初はガイドになるなんて考えもしなかったけど、大学でビジネスを専攻して、銀行やITコンサルタント、その他いろんなオフィスワークを経験して、日に当たらない生活に嫌気が差したんだ。そして全部投げ出して世界中を旅して、また現実に帰ってきた。そのときツアーガイドとして、屋外でいろんな人と接したいって思ったんだ。</p> <p>ワインの試飲や自然の中でのハイキングのように、ツアーの内容だけがすべてだと思ってるお客さんが多いけど、そんなことない。自分たち以外の旅行者との出会いも旅の醍醐味さ。1つのツアーでどれだけの友情や、愛が生まれるか、僕たちも数え切れないくらいさ。たとえば、家族で参加したオハイオのお客さんは、おじいちゃんおばあちゃんからいとこまでそろった大団体だった。彼らはとっても優しくて家族旅行の仲間にも僕をいれてくれたんだ。一緒にランチを食べて、サンフランシスコのツアーの後にはディナーにまで招待してくれた。彼らを空港まで見送るときは、自分の家族を見送る気持ちになったよ。 この星で最高の場所を最高の人達と訪れる・・・僕は本当に幸せ者さ！</p> <p>僕たちのツアーであなたに会えることを楽しみにしているよ！</p>
 <p>Curt</p>	<p>こんにちは、私はカート・デヴィスです。カリフォルニア北部の出身で、最愛の妻と出会ってからはサンフランシスコに住んでいます。</p> <p>私は家のご近所から今の会社の上司を紹介され、興味をひかれて入社しました。私は小さな町の出身でしたが、前身はミュージシャンだったので、世界中を旅行していました。世界を巡ってお金をもらえるなんて、本当に、ラッキーだったと思います。私の経験から、自分の故郷を愛するためにも、人は旅行をするべきだと思います。</p> <p>「どこがあなたのお気に入りのスポット？」とよく聞かれるけれど、私はいつも自分の故郷のカリフォルニアだと答えています。ヨセミテやワインのブドウ畑、美しいサンフランシスコの湾を見ると、いつも幸せになるんです。次に、「あなたのお気に入りのツアーは何？」と聞かれますが、これは難しい質問です。ヨセミテツアーは少し遠いけど、その景色は本当に素晴らしいですし、ワイン畑のツアーは素敵な景色はないけれど、そこを訪れればきっとそこで働く人たちの親切さやワイナリーの居心地の良さに心があつまるからです。 私は自分の故郷を世界中の人々に紹介できるこの仕事を愛しています！</p>
 <p>Frank</p>	<p>こんにちは、フランクです。前の会社の退職を機にこのツアー業界に入りました。前から興味を惹かれていたし、この魅力的な職につけた瞬間、本当に嬉しかったです。世界中の人に自分の町を紹介できる喜びといった言葉になりません！</p> <p>結婚はしていますが子供はいないので、退職後は世界中を旅してきました。イタリアでひと月過ごしたり、タイやニュージーランド、オーストラリアにも行く予定です。過去にヨーロッパやアフリカ、アジア、オーストラリア、コロンビアなどを旅行しました。私がかつてニューヨークからカリフォルニアを訪れたときには、国立公園にしか行きませんでした。私は自分のお気に入りの場所を友人に紹介したり、新しい発見をすることを楽しんできたのです。私はもとはニュージャージー出身で、アフリカ、ボストン、マンハッタン、サンフランシスコに住んだ経験があります。今まで世界中の人たちと仕事をしてきましたが、異なる文化の人々と出会うことは私自身の世界を大きくしてくれました。</p> <p>自分たちの紹介するツアーのなかでも、季節により表情が変わるヨセミテ公園のツアーは特にお気に入りです。毎回のツアーで私はいろんなことを学べます。例えば、私は最近までテントウムシが冬眠するのを知りませんでしたよ！ヨセミテ公園の開園直後は人気もなく静かでとても魅力的です。特にミューアの森は素晴らしい。最近のツアーである若いお客さんがそこでお連れの方にプロポーズしたんですよ！</p> <p>私はいつもツアーには全力で臨み、そのときにしか出来ない体験を求めています。仕事は楽しいし、お客さんの思い出づくりのお手伝いをしたいとも思っています。</p>
 <p>Jack</p>	<p>自己紹介をさせていただきます。私はジャック。前職では、ある非営利団体の開発ディレクターとして長年働いていました。</p> <p>私にはお気に入りのツアーはないけれど、ヨセミテ、ワインカントリーなど様々な観光地へお客さんを案内することが大好きです。世界中の人々に出会うのは飽きないし、素晴らしい冒険の瞬間を彼らと分かち合えることは本当に楽しい。特に印象に残っているのはジャイアント・セコイアの木の前でプロポーズした若いカップルのお客さんがいたことです。その他様々な個性的な方に出会えました。</p> <p>私はワシントン州のシアトル近郊で生まれ育ち、子供のころからアウトドアに親しんできました。そこから高校ではベトナム戦争への反戦運動等に参加しました。それからワシントン州立大学とシアトル大学で経営学とホテル・レストラン経営学を学びました。今では19歳と20人の2人の子供の父親で、サンフランシスコに住んでいます。趣味はワインと美味しいカキの探求と、フットボール、地元の歴史とアウトドアです。</p>
 <p>Mike B</p>	<p>やあ！僕の名前はマイクです！ この仕事が大好きです。すごく僕にあった仕事だと思う。なぜなら僕は人が好きだし、人生を楽しんでいておまけに楽しいことをするのが大好きなんだ。それを全部いっぺんに出来ちゃうこの仕事に就けて最高に嬉しい！僕の目標は自分のツアーを毎回楽しみがいっぱい詰まった大冒険にすること。そしてお客さんが楽しく思い出してくれるようなツアーを作ることなんです。</p> <p>僕はニューヨーク出身だけど、大人になってからはずっとベイエリアに住んでいて、そのときに初めてサンフランシスコに足を踏み入れたんです。そのとき、僕はこの町に恋して、きっとここで働くことになるだろうって思ったんです。そして実際そうだった。</p> <p>僕らのツアーの中で僕が一番のお気に入りは、・・・うーん、1つに絞るのは難しいんです。だって僕はすべてのツアーを自分の息子同然に愛しているんだから。 ヨセミテにワイン畑、すべてのツアーは喜びと楽しみで満ち溢れているんです。 すべての場所にはその場所にしかない独特な魅力があるんだから。昼休みには、よく小川の近くで自分の今までの人生について考えたりするんだ。自然に囲まれて働く今、自分がいかに忙しくて忘れてやすい時間を過ごしてきたかっていうことを。 僕はこの職についてより精神性のあふれる人間になれたと思う。 もしあなたがこの場所に来たら、僕の言っていることが理解できるでしょう。</p> <p>僕はずっとここにいて、あなたたちに来てくれて素晴らしいベイエリアでの時間を共有できることを楽しみにしています！</p> <p>愛をこめて</p>

Rick	<p>やあ、こんにちは！僕はリックです。 最高に楽しい時間を過ごしたいなら、僕のツアーに参加しよう！ 僕はブラジルのサンパウロ出身だから、ユーモアセンスは抜群だよ！</p>
	<p>僕はもともと法学専攻で、大学卒業後は銀行で働いて、法学を教えたりもしていたけど、退屈なデスクワークから逃げ出して、アメリカにやってきたんだ。 だって僕もあなたみたいに冒険が好きだから！ エクストロノミカルツアーで働く前は、山間の町で弁護士をしていたんだけど、そのときはツアーガイドになるなんて全く考えてなかったな。</p>
	<p>でも、人をが大好きで、楽しむことに貪欲な僕にはガイドは最高の職だって気づいたんだ！ もしエクストロノミカルのツアーで僕があなたのガイドだったら、すごくラッキーだよ！お客さんは毎日世界中からやってくるけど、一度僕のバスに乗り込んだら大きな家族になれるんだから！ あなたを「ようこそ！」って出迎えられる日を楽しみにしているよ！</p>
Roman	<p>僕は本質的に旅人なんです。もともとは僕の生まれ育ったドイツのライン川で石油精製の仕事をしていたんですが、ずっとツアーガイドになるのを望んでいました。</p>
	<p>ある年、スペインでの旅行中に会った一人の女性にカリフォルニアへと導かれたんです。最初は不慣れな土地で過ごすのが大変でした。 なんとか大学を出たけれど、給料はよくなかったです。でも様々な職を転々とし、たどり着いたサンフランシスコで僕に革命が起こったんです。 そう、ツアーガイドの職と出会ったんです。</p>
	<p>たくさんの努力の結果、今では情熱をもってこの仕事に取り組んでいます。 たくさんの人々と接して、アウトドアを楽しんで・・・ え？もっと知りたい？それなら是非僕とツアーを楽しみましょう！</p>

*** ガイドの指名はできませんので、あらかじめご了承ください。**